

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街				
重点課題	3	日常の身近な暮らしの安心の確保				
主 な 取 組 内 容						
19年度(実績)			20年度(予定)			
施策1 地域での防火・防犯対策						
<p>「教えて！ファイヤーマン」事業では、市立小学校203校で実施し15,000人の児童が受講。 「(仮称)札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」制定に向けた調査の実施。 スクールガードリーダー39名を委嘱し、1,791名をスクールガードとして登録。 「子どもの安全を地域で守る地域安全マップ作り事業」では、北区の小学校3校で地域安全マップづくりを実施。 「サイクリングロードモザイクアート事業」では、しらかばトンネル(厚別区大谷地2丁目)北壁58mにモザイクアートを作成。 豊平区地域安全ネットワーク会議(構成団体50団体)を設立するとともに災害図上訓練(DIG)等を開催。(3回、参加人数:住民109名)</p>			<p>「教えて！ファイヤーマン」事業を市立小学校203校で実施し15,000人の児童が受講。 「(仮称)札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」の制定。 スクールガードリーダー45名を委嘱し、スクールガードの継続・新規登録を行う。 「子どもの安全を地域で守る地域安全マップ作り事業」では、北区の4校で地域安全マップを作成(当初計画は2校)。 「サイクリングロードモザイクアート事業」では、しらかばトンネル(厚別区大谷地2丁目)南壁58mにモザイクアートを作成予定。 豊平区地域安全ネットワーク会議・セミナー・災害図上訓練(DIG)・防災リーダー研修等を開催するとともに「豊平区防災マップ」を作成する。</p>			
施策2 日常の暮らしの安心						
<p>他政令指定都市、北海道・東北・新潟地区の衛生研究所の整備状況を調査し、札幌市衛生研究所はインターロック構造のドア構造や実験室内の作業を監視可能な設備が必要であることが判明。 民間建築物の所有者が行う吹付けアスベストの分析調査等に係る費用の一部を補助する要綱を施行。 人と環境にやさしい農業及び地産地消を推進する「さっぽろとれたてっこ」農畜産物認証制度の運用開始。 地下鉄東西線可動式ホーム柵は、南郷7丁目の中線ホームに、試験ならびに教習用としても活用する目的で、3月末に先行設置。 東消防署警防課札幌出張所に救急隊1隊を配置し、同出張所に消毒室を設置。 携帯電話等から119番通報された際、携帯電話基地局や人工衛星などを利用して、おおよその発信位置を特定し、速やかに消防車や救急車を出動させるシステムを導入。 救急救命士が行う救急救命処置拡大による救急業務を充実。</p>			<p>衛生研究所2F結核検査室及び前室(66㎡)を、三種病原体取り扱い施設に適合するように、インターロック構造及び実験室内の作業を監視できる構造を保有した施設に整備。 民間建築物の所有者が行う吹付けアスベストの分析調査1件・除去等工事1件。 「さっぽろとれたてっこ」農畜産物認証制度の運用。 地下鉄東西線ホーム柵は9月上旬の新さっぽろ駅から順次各駅に設置をし、3月末までに東西線全19駅に設置。 消防ヘリコプターを1機購入。 救急救命士が行う救急救命処置拡大による救急業務の充実を図る。</p>			
主 な 施 設 、 サ ー ビ ス の 整 備 水 準						
施設(サービス)名	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
地下鉄可動式ホーム柵設置		0駅(1ホーム)	19駅			19駅
救急隊	30隊	31隊				31隊

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	3	日常の身近な暮らしの安心の確保
評価（成果）		課題
施策1 地域での防火・防犯対策 「教えて！ファイヤーマン」事業をほとんどの市立小学校で実施し、児童や児童の家族などの防火意識の向上に一定の効果あげている。 また、「(仮称)札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」制定に係るヒアリング等を実施することにより、地域の防犯活動を支援する基本的な考え方や枠組みを整理した。 このほか、子どもを犯罪から守る取り組みなど、地域の安全を地域で守るための事業を展開した。		
施策2 日常の暮らしの安心 食品の安全性を確保するため、地産地消を基本とした「さっぽろとれたてっこ」農畜産物認証制度を運用し、また、病原体の解析による早期の感染症対策を進めるため、衛生研究所の設備に関する調査を行った。 このほか、地下鉄走行路面への転落防止等を図るため、東西線南郷7丁目の中線ホームにホーム柵を先行設置することにより安全性を確認するとともに、救急救命の充実を図るため、救急隊の増強や救急業務の高度化を進めた。		防火意識の普及啓発は、対象年代にあわせたわかりやすい内容にするとともに啓発効果の高い機材等を整備していく必要がある。 また、地域防犯においては、自主的な防犯活動団体間の連携強化や情報の共有などについて課題が生じており、それらの解決策を講じていく必要がある。 そのほか、子どもを犯罪から守る取り組みなどでは、従来から活動している団体等と連携し、地域が一体となった活動を目指す必要がある。
今後の重点取組		
防火・防犯等について、市民に密着した普及啓発に努めるとともに、さらには、より地域が一体となり「地域の安全は地域で守る」ことができるよう施策を展開していく。		

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	3	日常の身近な暮らしの安心の確保

成果指標等の動向

<p>項目1 日常生活において、身近な犯罪に対する不安感を抱いている市民の割合(単位:%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>値</th><th>属性</th></tr> <tr><td>H18</td><td>72.9</td><td>現状値</td></tr> <tr><td>H19</td><td>72.2</td><td>実績</td></tr> <tr><td>H22</td><td>60</td><td>目標値</td></tr> </table>	年度	値	属性	H18	72.9	現状値	H19	72.2	実績	H22	60	目標値	<p>項目2 人口1万人当たりの火災発生件数(出火率)(単位:件)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>値</th><th>属性</th></tr> <tr><td>H18</td><td>4.2</td><td>現状値</td></tr> <tr><td>H19</td><td>4.0</td><td>実績</td></tr> <tr><td>H22</td><td>4.0</td><td>目標値</td></tr> </table>	年度	値	属性	H18	4.2	現状値	H19	4.0	実績	H22	4.0	目標値
年度	値	属性																							
H18	72.9	現状値																							
H19	72.2	実績																							
H22	60	目標値																							
年度	値	属性																							
H18	4.2	現状値																							
H19	4.0	実績																							
H22	4.0	目標値																							
<p>項目3 地域防犯活動に参加している人の割合(単位:%)</p> <p>平成21年に調査実施予定のため実績値は未記載</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>値</th><th>属性</th></tr> <tr><td>H18</td><td>12.9</td><td>現状値</td></tr> <tr><td>H22</td><td>17</td><td>目標値</td></tr> </table>	年度	値	属性	H18	12.9	現状値	H22	17	目標値	<p>項目4 救命講習の受講人員(単位:万人)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>値</th><th>属性</th></tr> <tr><td>H18</td><td>19</td><td>現状値</td></tr> <tr><td>H19</td><td>22</td><td>実績</td></tr> <tr><td>H22</td><td>29</td><td>目標値</td></tr> </table>	年度	値	属性	H18	19	現状値	H19	22	実績	H22	29	目標値			
年度	値	属性																							
H18	12.9	現状値																							
H22	17	目標値																							
年度	値	属性																							
H18	19	現状値																							
H19	22	実績																							
H22	29	目標値																							
<p>項目5</p>	<p>項目6</p>																								

成果指標等から見た重点課題の評価

「人口1万人当たりの火災発生件数(出火率)」は目標の数値となり、また、「日常生活において、身近な犯罪に対する不安感を抱いている市民の割合」や「救命講習の受講人員」についても、目標の数値に近づいており、各関連事業の成果が着実に出来ていると考えられる。
 今後についても、地域と協働しながら防火・防犯等の対策を進めていきたい。